第４　食料、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

⑴　官民一体となった施策の総合的な推進

①　国、地方をはじめとする関係者の適切な役割分担

食料・農業・農村に関する施策は、国民生活や経済社会のあり方と深く結び付いていることから、その推進に当たっては、国はもとより地方公共団体、農業者、消費者、事業者及びそれぞれの関係団体等の適切な役割分担のもと、十分なコミュニケーションを行いながら、施策を総合的かつ計画的に推進する。

その際、新たな施策の導入や推進に当たっては、ＩＴ等も活用しつつ、現場担当者への説明や推進状況の報告等の円滑な情報交換を充実させる。

②　効果的・効率的な施策の推進体制の整備

新たな食料・農業・農村に関する政策の推進に併せて、行政ニーズの変化等に迅速かつ効果的・効率的に対応できるよう、行政組織のあり方を含め、施策の推進体制を見直していく。

また、新たな施策を農業・農村の現場の最前線まで浸透させ、施策対象者の理解と具体的な行動を促すため、農業関係団体との連携に加え、農業・農村の現場で施策情報の提供等に主体的に取り組む事業者、消費者団体、研究機関、ＮＰＯ等を新たな政策推進パートナーとして位置付け、これらの者と連携しながら利便性の高い多様なサービスを提供する。

⑵　国民視点に立った政策決定プロセスの実現

①　国民の声の把握

政策の企画・立案段階から、ホームページ等を通じた情報提供や意見募集を行うとともに、全国各地での国民との意見交換を積極的に行うことにより、政策決定プロセスへの国民の参画機会を増やし、現場の声を施策に反映させていく。

また、こうした国民との対話をはじめとしたあらゆる機会を通じて、国民が望む情報を適時適切に提供し、透明性が高く分かりやすい広報活動の実現を図る。

②　科学的・客観的な分析

施策の立案から決定に至るまでの検討過程において、できる限り客観的なデータに基づいた計量経済分析等の数学的・経済学的な手法を幅広く導入したり、国民に分かりやすい指標を開発するなど、施策を科学的・客観的に分析し、その必要性や有効性を明らかにする。

また、こうした施策の決定や推進に必要となる統計調査については、新たな施策ニーズを踏まえ的確に実施する。

③　施策の進捗管理と政策評価の適切な活用

施策の実施に当たっては、その手順、時期、手法及び目的を明らかにしつつ、進捗状況の管理を行う。

また、成果志向の目標設定を推進すること等により、政策評価を積極的に活用し、政策・施策の効果、問題点等を検証するとともに、政策評価に関する情報の公開を進める。

これらにより、必要に応じて政策・施策内容を見直すなど、国民のニーズに沿うように対応する。

⑶　財政措置の効率的かつ重点的な運用

厳しい財政事情の下で限られた予算を最大限有効に活用する観点から、施策ニーズに応じて従来の予算構造を見直し、目的に応じた施策の選択と集中的実施を行うとともに、様々な観点からのコスト縮減に取り組み、効果的な施策の実施を図る。

また、新たな施策の実施に当たっては、既存の施策の廃止・見直しを徹底することにより、施策の実施に伴う国民負担を合理的なものとするとともに、将来の負担の見込みを含め、必要な情報を分かりやすく提示すること等により、積極的に国民の理解と納得を得ていく。

表１　生産数量目標と克服すべき課題

主要品目ごとの生産数量目標及び克服すべき課題は以下のとおり。

なお、この他横断的課題として、第１に掲げた政策の方向、すなわち、戸別所得補償制度の導入、「品質」や「安全・安心」といった消費者ニーズに適った生産体系への転換、６次産業化による活力ある農山漁村の再生を基本とした政策体系への転換を行うこととする。

	平成32年度消費（kg／年）	平成20年度生産（万トン）	平成32年度生産（万トン）	克服すべき課題
米	—	882	975	
米（米粉用米・飼料用米を除く）	62	881	855	○　消費者、外食・中食事業者、卸・小売業者等の多様なニーズに対応した米の供給 ○　消費者の健康志向等に対応したごはん食の普及、ごはん食関連商品の開発促進等米の消費拡大
米粉用米	3.3	0.1	50	○　実需者ニーズに対応した原料の安定供給体制の構築、多収米品種・栽培技術の普及による単収向上とこれに伴う肥料費等の生産コスト増大の抑制 ○　乾燥調製・貯蔵施設、加工施設の整備等の供給体制の確立 ○　多様な用途に対応した製法技術の革新、米粉の特徴を活かした商品開発、生産者と加工事業者のマッチング等による消費の拡大
飼料用米	—	0.9	70	○　実需者ニーズに対応した安定供給体制の構築、多収米品種・栽培技術の普及による単収向上とこれに伴う肥料費等の生産コスト増大の抑制 ○　飼料用米の産地と畜産農家、配合飼料メーカー等とのマッチングや効率的な流通体制の確立 ○　乾燥調製・貯蔵施設の整備等の供給体制の確立
小麦	28	88	180	○　パン・中華めん用小麦の生産拡大（収量性に優れた良質なパン・中華めん用品種の育成・普及及び単収向上技術の普及） ○　良質な水稲晩生品種の育成による広範な水田二毛作の普及と、作業効率や排水性の向上のための水田の団地的な利用と汎用化 ○　加工技術の確立等による国産日本めん用小麦のパン、菓子用への利用拡大
大麦・はだか麦	0.2	22	35	○　実需者ニーズに対応した安定供給体制の確立（焼酎用途の供給拡大、排水対策の徹底等による作柄の安定化、収量性に優れた良質な新品種の育成・普及等） ○　良質な水稲晩生品種の育成による広範な水田二毛作の普及と、作業効率や排水性の向上のための水田の団地的な利用と汎用化
そば	0.7	2.7	5.9	○　排水性の向上のための水田の団地的な利用と汎用化、麦等の後作としての作付拡大 ○　機械化適性を有する多収品種の育成・普及